

富士宮市議会の各会派が選ぶ！

## 令和 6 年度決算の注目質疑

市の貯金である財政調整基金は前年度から約 13 億円増の 86 億 7200 万円、市債残高は 8,980 万円減りました。

財政の弾力性を示す経常収支比率は 93.8%、借金返済額の財政規模に対する割合の実質公債費比率は 3.6%、指数が高いほど財源に余裕があるといえる財政力指数は 0.834 となり、将来負担比率は生じていません。

### 決算審査特別委員会

#### 佐野寿夫委員長のコメント

2 日間にわたり令和 6 年度決算審査特別委員会を全委員出席のもと開催しました。歳入では、全般について多くの質疑が出され、歳出では特に、自治体全体の運営を支えるための基礎的な経費である総務費に議論が集中しました。富士宮市病院事業決算認定では、現状と今後の病院事業をめぐって活発な質疑が行われました。2 日目は 19 時頃まで審議を尽くし、全会一致で可決すべきものと決定いたしました。



▲佐野寿夫 委員長

### 討論

令和 6 年度富士宮市一般会計決算（認第 1 号）について、本会議で行われた討論内容を要約し、以下のとおり掲載します。



#### 賛成討論 赤池 弘源 議員

物価高騰や社会保障費の増大など厳しい環境の中でも富士宮市は生活支援と将来投資の両立を実現しました。歳入 645 億円、歳出 612 億円で約 27 億円の黒字を確保し、令和 7 年度の財政需要に対応するため基金の積立も行われました。自主財源 58.9%と安定した財政運営が続いています。なお、市の財政状況を客観的に表す 4 つの指標「健全化判断比率」は良好で短期的な視点でなく長期的安定を重視した運営が続けられています。

→本会議で採決した結果、全会一致で令和 6 年度富士宮市一般会計決算（認第 1 号）を認定しました。